

# 多選は是非か

## 識者に聞く

# 反対 権力集中 政治が腐敗

### 多選禁止条例制定の前神奈川知事

#### 参院議員

#### 松沢 成文氏

任期満了に伴う青森県知事選(6月2日投票)は、新人の歯科医佐原若子氏(65)と5選を目指す現職の三村申吾氏(63)が立候補した。三村氏が当選すれば、在任期間が県政史上最長の知事となる。政治権力が集中する首長を選挙する上

「多選知事の弊害は何か。4点ある。一つは政治が独善化する。次に行政がマンネリ化する。人事権を持った知事の前で、茶坊主と化した役人ばかりが出世するようになる」



まつざわ・しげふみ 川崎市生まれ。慶大卒。松下政経塾3期生。衆院議員を経て、2003年から2期8年、神奈川知事。県議会に知事多選禁止条例を提案し、07年10月に成立。13年から現職。61歳。

「3点目は議会と知事が癒着するようになる。議員は行政をチエックする本来の仕事をしなくなる。知事の権力を

分けてもらう形で予算を取ることをアピールするようになる。4点目は業界、利益団体との癒着。県が補助金を出す、各種団体が政治献金をするよ

うになる。この四つが続くと民主政治は腐敗する」

「多選を禁止すべき原理とは。民主政治とは、政治権力が

「総理大臣よりも知事の方が権力が集中する仕組みにな

## 19 青森 知事選

で、多選は是非か。神奈川県知事時代にも多選禁止条例を制定した松沢成文参議院議員、10期連続当選の山梨県早川町の辻一幸町長の2人に聞いた。

「多選がどうかと問われても答えようがない。4年間で何をやるか、何をしたかをしっかりと示し、有権者に認め

てもらったことが大事だ。自分と支持者の意思で1期ごとに区切りを付けて決意している。何期目でも同じ。5期が長いとか、何期が短いとかは

「多選の弊害を感じさせること自体が行政運営の失敗。不公平な施策やひいきをすれば弊害になる。長期政権になるというものは、その弊害が

「長期ビジョンは大事だ。4年ごとに首長がころころ変わるようでは町民にとってプラスにならない。国へ要望する際も当選回数が多い方が相手に評価されやすいし、継続性を持って訴えられる」

「地域が衰退しないようにと平成の大合併に反対した。それどころか、昭和の合併で一つになった六つの旧村に自治の主体を戻し、学校を存続させた。町の小学校は給食も修学旅行も完全無料だ。知識と経験があればこそ、効率化

#### 辻 一幸氏



つじ・かずゆき 山梨県早川町生まれ。青山学院大卒。人口約1000の町で1980年から、現役首長では最多の連続10期町長を務める。78歳。

## 賛成

# 長期的視点 継続が力

「夢を追っていいれば、発想が枯れることはない」

「夢を追っていいれば、発想が枯れることはない」

てもう「ゆう活・あき活」を実施する。導入4年目の本年度は出勤時間の選択肢を基本の午前8時半を含め9パターンに設け、東北の6県庁で最も多くなった。働き方改革につながるかどうか注目だ。

最も早いと 7時～15時45分

最も遅いと 11時～19時45分

ンを増やした理由を「より多くの職員に働き方を見直す機会を得てもらうため」と説明。一方で増やし過ぎると「業務管理上の問題も出てくる」といい、職員への聞き取りや利用状況も踏まえベストの制度を探るといふ。

小樽市の観光名所を紹介する生



## 秋田の皆さん

歴史文化などテーマごとに小樽をPR。お薦めの記念撮影スポットなどの豆知識も交えてアピールした。プレゼンテーションの内容をまとめた手作りのパンフレットも配った。

生徒会長の高木悠月さん(14)は「緊張したけれど、練習通りに魅力を伝えることができた」と話した。同校は、交流人口拡大に

五輪ホストタウン ベトナム登録 福島市申請へ

取材メモら 釜石の経験

## 東北の釣り場情報

### 宮城

仙南サーフなどは大型のヒラメも釣れているほか、マゴチの姿も見え始めた。

### 岩手

深流釣りは魚の活性も上がり、好釣果が望める。

### 秋田

キスやアジなど食べておいしく釣っても楽しいファミリー向けの魚がシーズンを迎えている。

### 青森

漁港で手軽に狙えるターゲットが増えている。沖釣りではマダイもお勧めなシーズンだ。

### 青森

漁港で手軽に狙えるターゲットが増えている。沖釣りではマダイもお勧めなシーズンだ。

### 青森

漁港で手軽に狙えるターゲットが増えている。沖釣りではマダイもお勧めなシーズンだ。

### 青森

漁港で手軽に狙えるターゲットが増えている。沖釣りではマダイもお勧めなシーズンだ。